

この商品は一般家庭で調理するために使うものです。
「使用上の注意」等をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
又、取扱説明書は大切に保管してください。

警告

- 加熱中は火元を離れないでください。
 - 空だきはしないでください。
- 火災の原因になります。**

使用前の準備

- 取っ手の取り付けに破損やガタツキなどがなければ安全を確認してから使用してください。
- 本体に貼ってあるラベルを取ってください。
- 最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗います。すぐに水気を拭き取ってください。

警告

安全にご使用いただくために

- 強火で加熱されますと急激に鍋底を加熱し、引火点に達することがあり少量の油を入れた時、引火する危険があります。又、油がこげついたり、鍋底が変色(焼)や熱膨張により変形(凹凸やガタツキ)する原因になります。火力の調節(中火以下)を行ってください。

注意

安全にご使用いただくために

- 電磁調理器には使用できません。
- 調理中や調理の直後は本体が熱くなっています。火傷の危険がありますので注意してください。又、幼児の手に触れないようにしてください。
- 加熱器具の中央部にのせて安定させて使用してください。
- 炎が鍋の底面からはみ出さないよう使用してください。炎により取っ手がこげで危険です。異臭も発生します。
- 隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないよう向きを調整してください。
- 転倒防止の為、鍋の取っ手とコンロのごとくのツメの方向が同じになるようにのせてください。
- ごとくの形状や調理量によっては転倒することがありますので、取っ手を持ちながら調理するようにしてください。
- 空の状態の鍋をごとくの上に置かないでください。転倒の原因になります。
- なべの中に料理を保存しないでください。塗装のはがれや腐食の原因になりますので他の容器に移してください。



- 取っ手は熱くなる場合があります。ミトン等を使用してください。
- 取っ手がゆるんだ状態で使用すると脱落して火傷の危険があります。ネジを締め直してから使用してください。
- 取っ手の破損に対し、改造や応急処置等の手当てをして使用することは危険ですのでやめてください。
- 取っ手内部に水が残っていると、取っ手金具が腐食したり、調理中に蒸気や熱湯が噴き出して火傷の危険がありますので、必ず水を抜いてから使用してください。
- 縁まで材料や油等を満たした状態で使用しないでください。
- 空だきはしないでください。火災や本体の変形、取っ手の破損の原因となります。又、必要以上の加熱や急冷は塗膜や本体底面の寿命を縮める原因になります。
- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。ガスの火が消えたり、調理器の故障原因となります。
- 酢等の酸性のものや、重曹等のアルカリ性のものの使用は避けてください。
- 塗膜保護の為にも火力は中火以下で使用してください。



- 調理の際はプラスチック製又は木製の器具を使用してください。又、金属製の調理器具を使用される際は、縁部分が丸いならかなものを使用してください。(角のあるものは傷をつける原因になります。)
- 塗膜の表面で材料を刻んだりすることは避けてください。
- 調理の際には油を塗ってください。
- 油の過熱により火災の危険があります。調理中に場所を離れる時は必ず火を止めてください。
- 調理の際は、油の温度が200度以上にならないようにしてください。
- 天ぷら料理等には使用しないでください。

